

Relationships between Type 1 interferon signatures and clinical features of the new-onset lupus patients in Japan

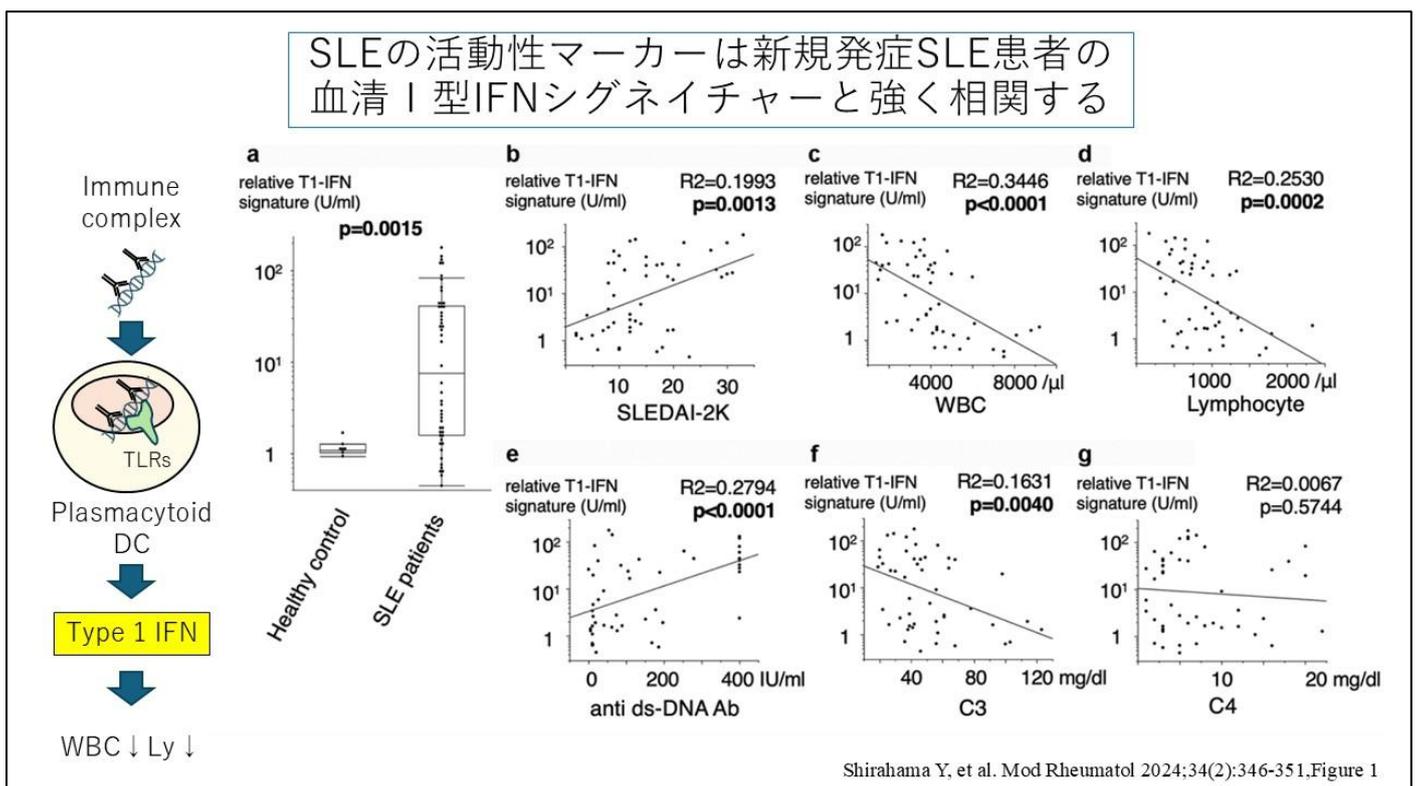
新規発症 SLE 患者の血清 I 型 IFN シグネイチャーと臨床症状の関連についての検討
白濱 裕梨

本研究では、新規発症 SLE 患者血清の I 型 IFN シグネイチャーと臨床症状の関連を比較検討しました。血清 I 型 IFN シグネイチャーは、発症時の SLE 疾患活動性マーカーと強く関連していました。症状では、発熱と、蝶形紅斑、皮膚血管炎、口内炎、脱毛のような急性皮膚ループス症状がある患者で I 型 IFN シグネイチャーは高く、腎炎の有無での傾向の違いは認めませんでした。同時期に千葉大学のグループも、発症時 SLE 患者の血清 I 型 IFN シグネイチャーは皮膚粘膜病変と関連していることを報告しており、I 型 IFN と皮膚症状の関連については間違いなさそうです。治療でも、I 型 IFN を標的としたアニフロルマブは皮膚症状に有効であることが示され、B 細胞標的のベリムマブは腎病変に対してより有用であることが示されています。私達の結果は、SLE 病態理解だけでなく、治療薬の使い分けという点でも重要な知見と考えられます。

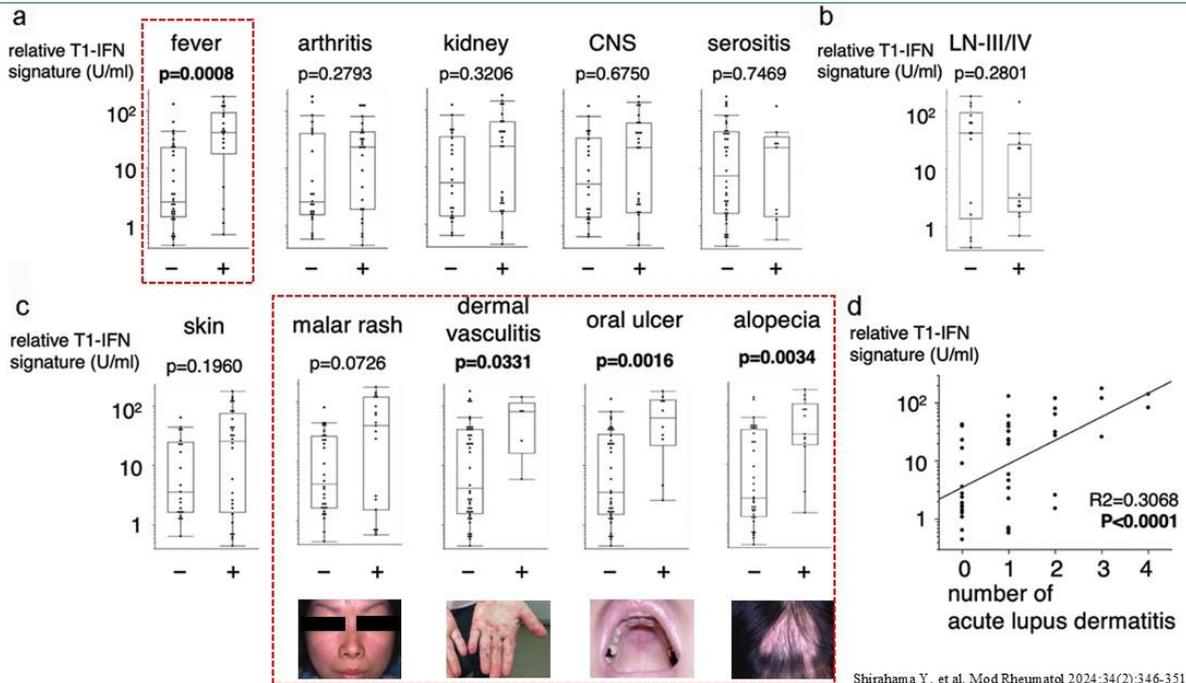
参考文献

1. Shirahama Y and Ono N et al. *Modern Rheumatology*, 34, 2024, 346–351
2. Miyachi K and Iwamoto T et al. *Arthritis Res Ther*. 2023 Feb 17;25(1):26.
3. Morand EF et al.: *N Engl J Med*. 2020; 382(3): 211-221
4. Shipa M et al. *Lancet Rheumatology* 2023;5e24-35

<https://doi.org/10.1093/mr/road015>



I型IFNシグネチャーは発熱、急性ループス皮膚症状のある患者で高い

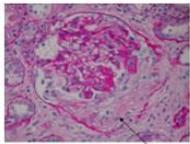


Shirahama Y, et al. Mod Rheumatol 2024;34(2):346-351, Figure 3

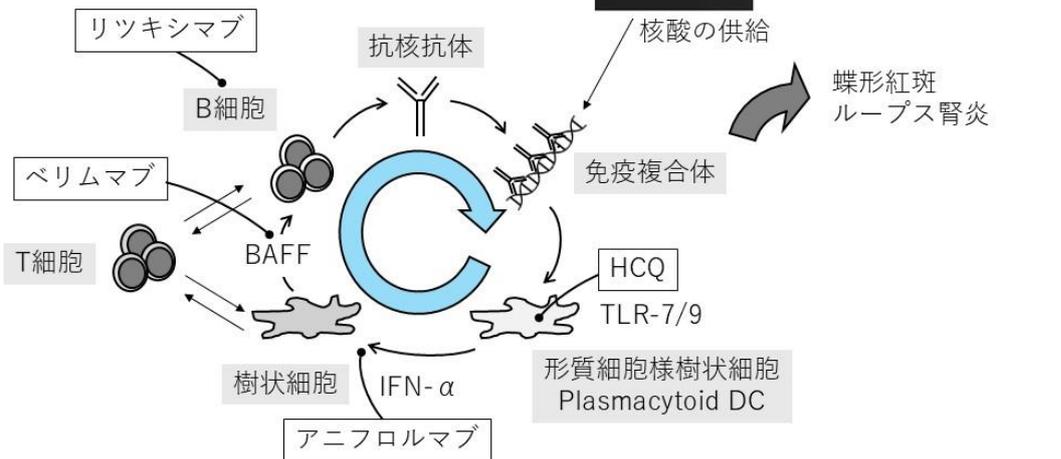
血清1型IFNシグネチャーは多様なSLE患者に対するに標的治療薬の使い分けに役立つかもしれない。

SLEにおける抗核抗体増幅ループと標的治療薬

ループス腎炎



皮膚症状



筆者作成